

平成 24 年 7 月施行

博士論文申請の手引き 論文博士（乙）

九州大学大学院
比較社会文化学府

目 次

学位取得までの流れ図

九州大学大学院比較社会文化学府論文博士（乙）の学位論文取扱内規

博士論文（乙）申請書類の様式

- ・ 学位申請書（比乙様式1）
- ・ 論文目録（比乙様式2）
- ・ 論文内容の要旨（比乙様式3）
- ・ 博士論文調書（比乙様式4）
- ・ 業績目録（比乙様式5）
- ・ 履歴書（比乙様式6）
- ・ 学位記表記文字等について（比乙様式7）
- ・ 承諾書（比乙様式8）

博士論文予備調査結果の報告書（比乙様式9-1, 2, 3）

博士論文公開審査について（比乙様式10）

論文審査報告書（比乙様式11-1, 2, 3, 4, 5）

博士論文のインターネット公開確認書

記入要領

論文博士（乙）学位取得までの流れ図

	概 要 説 明
博士論文等関係書類 の提出	<ul style="list-style-type: none"> 申請者は、本学府の教授会構成員である教員を経て、博士論文等関係書類を学府長へ提出する。
予備調査委員会の設置 (学府教授会)	<ul style="list-style-type: none"> 教授会において予備調査委員会（主査1人、副査4人）が選定される。主査は紹介教員とする。副査は可否の投票により決定される（可は、出席者の過半数の賛成が必要である）。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: center;">修正</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">予備調査</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査委員会により、論文受理の「可」・「修正のうえ可」・「否」について論文の内容等の調査が行われる。「修正のうえ可」の場合は、修正して再提出した論文が再調査される。 主査により学府長へ予備審査の結果が報告される。 予備審査終了論文の閲覧
博士論文（乙）受理 の可否 (学府教授会)	<ul style="list-style-type: none"> 教授会において、博士論文の受理について審議。 (可は、出席者の過半数の賛成が必要である) 原則として、予備調査委員を論文調査委員にあてる。
学位審査手数料納付	<ul style="list-style-type: none"> 論文を受理された申請者は、学位審査手数料（57,000円）を速やかに納付する。
総長への進達 審査付託	<ul style="list-style-type: none"> 学府長から総長に対して提出論文の受理について、進達がなされる。 総長から学府長に対して提出論文の審査付託がなされる。
公開審査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 主査から、申請者に対して公開審査の実施日が2週間前までに通知される。 公開による論文の調査および学力確認が行われる。 論文調査委員の主査から、その結果が学府長へ報告される。
学位授与資格（乙） 有無の決定 (学府教授会)	<ul style="list-style-type: none"> 教授会において、学位授与の可否について審議・決定される。 (教授会構成員の2/3以上が出席し、可は、出席者の2/3以上の賛成が必要である。)
総長への上申	<ul style="list-style-type: none"> 学府長から総長に対して提出論文の審査結果および学位の授与について上申がなされる。
学位授与通知	<ul style="list-style-type: none"> 総長から学府長に対して「博士」の学位授与通知がなされる。 申請者にも、総長から学位授与の通知がある。
学位授与式	<ul style="list-style-type: none"> 学位授与式は、年2回（3月，9月）行われる。

比較社会文化学府論文博士（乙）の学位論文取扱内規

（趣旨）

第1条 この内規は、論文提出による博士の学位論文の取扱いについて、九州大学学位規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

（用語の定義）

第2条 この内規に用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 学位規則 九州大学学位規則をいう。
- (2) 本学府 九州大学大学院比較社会文化学府をいう。
- (3) 教授会 本学府の教授会をいう。
- (4) 学府長 本学府の長をいう。
- (5) 論文 博士論文をいう。

（提出資格）

第3条 論文を提出することのできる者は、教授会構成員である教員が、博士課程を修了した者と同等以上の学力を有すると認めたとする。

（論文提出）

第4条 論文の審査を受けようとする者は、前条の教員を経て、学府長に論文を提出するものとする。提出する論文及び添付書類は、次のとおりとする。

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------|
| (1) 学位申請書 | | 2部（別紙比乙様式1） |
| (2) 主論文（仮綴じで可） | | 6部 |
| (3) 論文目録 | } 1部は原本で、他は写し可 | 6部（別紙比乙様式2） |
| (4) 論文要旨 | | 6部（別紙比乙様式3） |
| (5) 論文調書 | | 6部（別紙比乙様式4） |
| (6) 業績目録 | | 6部（別紙比乙様式5） |
| (7) 履歴書 | | 6部（別紙比乙様式6） |
| (8) 参考論文（ある場合） | | 6部 |
| (9) 学位記表記文字について | | 2部（別紙比乙様式7） |
| (10) 承諾書（第3項） | | 6部（別紙比乙様式8） |

2 第12条第3項の投票で可を得た者は、主論文2部を製本し、提出するものとする。

3 共著論文を主論文として提出できる者は、共同研究において主な役割をつとめ、その成果が共著論文の核心をなしていることが明確であり、かつ、その者が共著者名の筆頭に位置しており、申請に関して他の共著者の承諾書を取得している者とする。

(提出時期)

第5条 前条の論文提出については、その提出時期は特に定めない。

(予備調査委員会)

第6条 学府長は、論文の提出があったときは、論文の受理の可否をあらかじめ審査させるため、教授会に諮り、予備調査委員会を置くものとする。

2 予備調査委員会は、5人（主査1人、副査4人）の予備調査委員をもって構成する。

3 予備調査委員の主査は紹介教員とし、副査は紹介教員が選考した副査案を教授会において、可否の投票（可は、出席者の過半数の賛成が必要である。）により決定するものとする。

4 予備調査委員に欠員が生じた場合は、学府長が紹介教員と協議のうえ、補充するものとする。

5 第3項の予備調査委員の選考にあたっては、必要に応じ、本学府以外の教員等を加えることができるものとする。

(論文内容等の予備調査)

第7条 予備調査委員は、論文を受理すべきか否かについて論文の内容等を調査するものとする。

2 主査は、その結果を別紙比乙様式9-1から9-3のいずれかにより、学府長に報告するものとする。

(論文の受理)

第8条 学府長は、前条の報告に基づき、教授会に論文の受理の可否を諮るものとする。

2 受理の可否は、投票により行うものとし、出席者の過半数の賛成をもって受理するものとする。

3 論文を受理された者は、総長が定める審査手数料を速やかに納付するものとする。

(論文調査委員の選定)

第9条 教授会は、総長から付託された論文を審査するため、学位規則第17条第2項及び第3項の論文調査委員を定めて、論文の調査を行わせるものとする。

2 論文調査委員は、原則として第6条第2項に定める予備調査委員を充てるものとする。

(公開審査)

第10条 論文調査委員は、公開による論文の調査及び学力の確認を行う。

2 主査は、前項の公開による論文の調査及び学力の確認を行う期日を、2週間前までに論文提出者に通知するものとする。

3 主査は、公開審査の開催を別紙比乙第10号により、学府長に届け出るものとする。

4 学府長は、前項の届出に基づき、公開審査について、公示するものとする。
(論文の調査及び学力の確認)

第11条 論文の調査にあたっては、学位規則第18条の規定により行う。

2 学力の確認にあたっては、学位規則第19条の規定により行う。

3 主査は、論文の調査及び学力の確認を終了したときは、その結果の要旨を別紙比乙様式11-1から11-5により学府長に報告するものとする。
(教授会の審議)

第12条 学府長は、前条第3項の報告を受けたときは、学位規則第20条に定める教授会(構成員の3分の2以上の出席が必要である。)を招集するものとする。

2 論文調査委員は、前項の教授会において論文の調査及び学力の確認の結果について、別紙比乙様式11-1から11-5により、報告を行うものとする。

3 教授会は、前項の報告に基づいて審議し、学位を授与すべきか否かを投票(可は、出席者の3分の2以上の賛成が必要である。)により決定する。
(その他)

第13条 この内規に定めるもののほか、必要な事項は、教授会において決定する。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年5月25日から施行する。

平成 年 月 日

九州大学総長 殿

本籍

氏名

印

学位申請書

貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたします。

なお所定の手数料を納入いたします。

記

- | | | | | |
|---|------|----|---|----|
| 1 | 主論文 | 1編 | 冊 | 2通 |
| 2 | 参考論文 | 編 | 冊 | 1通 |
| 3 | 論文目録 | | | |
| 4 | 論文要旨 | | | |
| 5 | 履歴書 | | | |

(比乙様式1)

確認照合者	
主論文自著確認	
論文目録照合	

論文目録

区分	乙
----	---

氏名	
主論文 題名	1編 1冊 ○○○○・・・・
	<p>大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日)</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚)</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: right;">(平成○○年○月○○日)</p> <p style="text-align: right;">に公表予定</p> <p>(未公表の場合は予定を記入)</p>
参考論文 題名	○編 ○冊
	<p>1. ○○○○・・・・</p> <p style="text-align: center;">○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日)</p> <p style="text-align: center;">共著者○○○○</p> <p>2. ○○○○・・・・</p> <p style="text-align: center;">掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (平成○○年○月○○日)</p> <p style="text-align: center;">共著者○○○○</p>

博士論文調書

(論文博士)

1. 申請者氏名
2. 主論文題名
3. 希望する学位の名称 (いずれかに○を付す) [比較社会文化 理学]
4. 紹介教員及び認印
5. 業績作成場所
6. 現在勤務場所
7. 主論文の要旨

業 績 目 録

区分 乙

氏 名				
著書・学術論文等の名称	単著又は共著の別	発行又は発表年月日	発行所・発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要

(比乙様式5)

履 歴 書

区分	乙
----	---

ふりがな 氏 名 生年月日		男 女
本 籍 (都道府県名)		
現 住 所	〒	
学 歴	平成 年 月 日 現在に至る	
職 歴	平成 年 月 日 現在に至る	
研 究 歴	平成 年 月 日 現在まで	
<p style="text-align: center;">上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p>		

学位記表記文字等について

証 明 書 用 氏 名	<p><和文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人・漢字圏の学生名の場合→漢字表記 ・漢字圏以外の学生名の場合→カタカナ表記 	
	<p><英文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文表記、活字体で記入する ・パスポート、在留カード等に従う 	
	<p><フリガナ></p>	
学 位 記 用 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人・漢字圏の学生名の場合→漢字表記 ・漢字圏以外の学生名の場合→カタカナ表記 	
<p>授与決定通知 送付先住所</p>		〒

*氏名表記が履歴書と同じ場合でも提出願います。

*和文証明書用の氏名は、学位台帳に記載します。

*英文証明書用の氏名は、日本人学生については名→姓の順番で頭文字のみ大文字になります。

例) 九大 太郎 → Taro Kyudai

*送付先住所は、履歴書の住所と異なる場合にのみ記入願います。

*授与決定通知は、学位授与が決定次第送付します。

(海外の場合は、申請学府へ通知)

承 諾 書

私どもの次の共著論文を _____ 氏が，博士論文として提出することを
承諾いたします。

1. 共著論文の題名：

2. 掲載誌：

誌 第 卷・第 号 P P
(年 月)

平成 年 月 日

_____ 印	_____ 印
_____ 印	_____ 印
_____ 印	_____ 印
_____ 印	_____ 印
_____ 印	_____ 印
_____ 印	_____ 印

(注) 必ず各自が署名，捺印すること。

比較社会文化学府長 殿

博士論文予備調査結果の報告書

論文提出者氏名

主論文題名

予備調査委員会において、本論文に関する事項について詳細かつ厳正な調査を行ったところ、特に訂正する箇所もなかったため、調査委員合議の結果、博士（比較社会文化・理学）の学位申請論文として価値ある業績と認め、論文を受理すべきと判断した。よって、ここに論文の予備調査を終了したことを報告する。

なお、本論文を閲覧させる際は、下記の要領を比較社会文化学府教授会構成員に対し、通知願います。

平成 年 月 日

主査 印

副査 印

予備調査委員 副査 印

副査 印

副査 印

記

一、本論文の閲覧期間 平成 年 月 日より平成 年 月 日

一、本論文の閲覧場所

一、本論文の複写や上記閲覧場所以外への持ち出し等は禁止する。

比較社会文化学府長 殿

博士論文予備調査結果の報告書

論文提出者氏名

主論文題名

修正後の題名

(題名に修正がある場合)

予備調査委員会において、本論文に関する事項について詳細かつ厳正な調査を行ったところ、論文内容について修正を要する箇所があると認められたので、後日修正すべき点を改めて、主査に提出するよう指示した。

平成 年 月 日

	主査	印
	副査	印
予備調査委員	副査	印
	副査	印
	副査	印

平成 年 月 日再び調査を行ったところ、指摘された事項について十分な修正がなされていた。よって、調査委員合議の結果、博士（比較社会文化・理学）の学位申請論文として価値ある業績と認め論文を受理すべきと認定し、ここに論文の予備調査を終了したことを報告する。

なお、本論文を閲覧させる際は、下記の要領を比較社会文化学府教授会構成員に対し、通知願います。

平成 年 月 日

	主査	印
	副査	印
予備調査委員	副査	印
	副査	印
	副査	印

記

- 一、本論文の閲覧期間 平成 年 月 日より平成 年 月 日
- 一、本論文の閲覧場所
- 一、本論文の複写や上記閲覧場所以外への持ち出し等は禁止する。

(比乙様式9-2)

比較社会文化学府長 殿

博士論文予備調査結果の報告書

論文提出者氏名

主論文題名

予備調査委員会において、慎重に調査を行ったが、本論文は内容的に不備な点が多いので、この段階では学位申請論文として価値ある業績と認めることはできなかつた。十分に改変のうえ、再び提出すべきものと判断し、そのように指示した。

よって、この論文の予備調査を終了したことを報告する。なお、改変を要する主な点は、次のとおりである。

平成 年 月 日

主査 印

副査 印

予備調査委員 副査 印

副査 印

副査 印

平成 年 月 日

比較社会文化学府長 殿

主 査

印

博士論文公開審査について

九州大学大学院比較社会文化学府論文博士（乙）の学位論文取扱内規第10条による博士論文（論文博士）公開審査を下記により開催しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 論文提出者
2. 主論文題名
3. 開催日時
4. 場 所

(比乙様式10)

比較社会文化学府長 殿

論 文 審 査 報 告 書

氏 名

主論文題名

平成 年 月 日に公開による博士論文の調査及び最終試験を行い，調査委員合議の結果，別添の論文を博士（比較社会文化・理学）の学位論文として価値ある業績と認めた。

平成 年 月 日

主 査 印

副 査 印

副 査 印

副 査 印

副 査 印

論文審査報告書

申請者氏名

主論文題名

掲載雑誌名

(発行年月又は巻・号)

(ページ数)

参考論文

編 (内英文

編)

略 歴

年 月

大学

学部卒業

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

現在に至る

論文審査等の結果の要旨及びその担当者

ふりがな 氏 名	
論文審査の結果の 要旨	別紙のとおり
調査委員	主 査 副 査 副 査 副 査 副 査
試験又は学力確認 の結果の要旨	別紙のとおり
論文審査学府教授 会の名称と組織	名 称 九州大学大学院比較社会文化学府教授会 組織委員 人
判定方法	名 称 九州大学大学院比較社会文化学府教授会 判定の方法 教授会構成員の無記名投票による 出席者 名 可とするもの 票 否とするもの 票 白 票 票

学力確認の結果の要旨及び担当者

乙 第 号 氏 名

主 査
副 査
調査委員 副 査
副 査
副 査

学力確認の結果の要旨ならびに成績

博士論文のインターネット公表確認書 Statement of Depositing My Dissertation

20 年 月 日
(Signed Date: year / month / date)

九州大学総長 殿
To: President of Kyushu University

私が執筆した下記の博士論文(全文)を、九州大学学術情報リポジトリ(QIR)に登録し、インターネット上で公表することについて、下記のとおり確認します。

By signing this form, I declare my decision to deposit an electronic copy of my doctoral dissertation into the Kyushu University Institutional Repository (QIR) and permit all contents of the dissertation to be made freely available via Internet.

<公表方法について Depositing> 公表方法は、指導教員へ確認の上、選択してください。 (Please choose the manner of publication after consultation with your supervisor.)

<input type="checkbox"/> 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)にて公表する。 I agree to make the dissertation publicly available on QIR. <input type="checkbox"/> ただし、特許・実用新案等の申請のため、20 年 月 日以降に公表する。 (学位を授与される日から1年以内) However, due to reasons such as applications for patents and utility models, the dissertation shall be made publicly available on and after _____ (which shall be a day within one (1) year from the conferment of a doctorate degree).
<input type="checkbox"/> 次のやむを得ない事由により非公表とする。 なお、博士論文の全文をインターネットにより公表できない間は、博士論文の要約を九州大学学術情報リポジトリ(QIR)にて公表する。 I request that public access to the dissertation be restricted for the following unavoidable reason(s). For the period during which public access to the full contents of the dissertation on the Internet is restricted, I will make a summary thereof publicly available on QIR. <input type="checkbox"/> ①博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由によりインターネットの利用による公表ができない。 The dissertation is incapable of being made publicly available on the Internet, for reasons such as that it contains representations in a three-dimensional format. <input type="checkbox"/> ②博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表できない。 The dissertation is incapable of being made publicly available on the Internet even after one (1) year from the conferment of a doctorate degree, due to reasons such as copyright or personal information protection. <input type="checkbox"/> ③出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から1年を超えて生じる。(詳細を以下に記入すること) Due to a reason such as publication in printed media, contribution to academic journals which prohibit concurrent publication in other media or the filing of a patent application, it is obvious that the doctorate holder, even after one (1) year from receiving the doctorate degree, will suffer disadvantage by making the full contents of the dissertation publicly available on the Internet. (Please explain in detail) { _____ } <input type="checkbox"/> ④その他学府においてやむを得ない事由があると認められる場合 Any other reason deemed unavoidable by the school. { _____ }
博士論文が出版社から公表予定(あるいはされている)場合、著作権を出版社に譲渡している可能性がありますので、掲載予定の雑誌情報をお知らせください。 If your dissertation was or is to be published, you may have transferred your copyright to the publisher. Please fill in the details of the publication for negotiating with publishers. Journal Title (_____) Vol. No. (_____) Publisher (_____) Date of Issue (_____)

(ローマ字表記 Roman characters) 姓 Last Name (_____)	(ローマ字表記) 名 First Name (_____)		
(Middle Name if you wish to declare)			
論文題目 Title			
論文題目(英語) Translated Title	※ない場合は記入不要 If there is no translated title, you do not need to fill it in.		
学位授与年月日 Date of Degree Awarded	20 年 月 日 (year / month / date)		
学位の種類 Doctor of (_____)	例: 博士(医学)	学位記番号 Degree Number	例: 医博甲第〇〇号
論文主査名 Chief Examiner		指導教員名 Supervisor (Advisor)	
論文提出学府・専攻等	学府・研究科 (Graduate School)		専攻 (Major)
連絡先 contact info	所属 Affiliation		
	E-Mail		Tel

<注意事項 Notes>

- やむを得ない事由により博士論文の全文を公表することができず論文の要約を公表した場合、その事由が解消したときは、速やかに博士論文の全文を公表するよう手続きしてください。
If, for unavoidable reason, you are unable to make the full contents of the dissertation publicly available and only disclose a summary thereof, you are requested to take procedures to make the full contents publicly available immediately after such reason ceases to exist.
- この確認書に記載いただいた事項は、目的以外の用途には使用いたしません。
All information in this statement may not be used for any other purpose.

【お問い合わせ先 Contact Information】

学位に関すること	九州大学学務部全学教育課教務係 〒89-0395 福岡市西区元岡 744 TEL: 092-802-5935 FAX: 092-802-5990 E-Mail: gapkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp
QIRに関すること	九州大学附属図書館 e-リソースサービス室リポジトリ係 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 TEL: 092-642-2342 FAX: 092-642-2330 E-Mail: qir@jimu.kyushu-u.ac.jp

記 入 要 領

様式1 学位申請書の記入要領

		平成 年 月 日
九州大学総長 殿		
	本籍	注1
	氏名	印 注2
学位申請書		
貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたします。 なお所定の手数料を納入いたします。		
記		
1 主論文	1編 冊 2通	注3
2 参考論文	編 冊 1通	
3 論文目録		
4 論文要旨		
5 履歴書		

注1. 本籍
→ 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記入する。
国名は、外国人登録証にある国名を原則とする。

注2. 氏名
→ 履歴書記載の氏名（原則、戸籍簿どおり）と照合する。
外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。
※ 氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。
※ 印鑑は、履歴書と同一のものを押印する（外国人の場合は、サインも可）。

注3. 主論文 1編 1冊 2通 ←（規則で確定された項目）
参考論文 編 1冊 1通 ←（編数は提出に合わせて記入する）
* 参考論文を添付しない場合は、消線を付すこと。 （例）参考論文——編——1冊——1通

様式2「論文目録」及び 様式3「論文要旨」の作成にかかる留意事項

1. 「論文目録」及び「論文要旨」は、本様式により、A4判用紙にワープロ浄書のこと。
2. 以下の①～④に記載する「論文題目」はすべて一致させること。
 - ① 論文の「表紙」・「裏表紙」
 - ② 論文の内容の要旨
 - ③ 論文目録
 - ④ 論文結果の要旨
3. 論文目録は、本文と同じ言語によるものとし、英語の場合は、和訳をカッコ書きで付記すること。
4. 英文題目については、字体・文字の大小（大文字・小文字）についても統一させること。

(例)

 - (a) Molecular Analyses of Early Embryogenesis in ～
 - (b) Molecular analyses of early embryogenesis in ～
 - (c) MOLECULAR ANALYSES OF EARLY EMBRYOGENESIS IN ～例えば (a) にする場合は、①～④全て (a) に統一する。
5. 氏名も同様に統一すること。（①～④）

(例) ○高橋 ⇔ 高橋
○齋藤 ⇔ 斉藤
前者の場合は全て前者に統一する。（略さない）

【事務担当者へ】

- * 「論文目録」様式の欄外に、右の確認照合を付すこと。
- * 担当者は、本様式にて記載された論文目録等における各項目（氏名、題名等）の照合を行い、空欄に、確認印を押印すること。

確認照合者印	
主論文自著確認	
論文目録照合	

様式2 論文目録の記入要領

記載例

論 文 目 録			
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 50%;">区 分</td> <td style="width: 50%;">乙</td> </tr> </table>	区 分	乙
区 分	乙		
氏 名	○○○○ 注1		
主論文	1編 1冊		
題 名	○○○○……… 注2		
	大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) : に公表予定		
参考論文	○編 ○冊		
題 名			
1.	○○○○……… ○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) 共著者○○○○		
2.	○○○○……… 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (平成○○年○月○○日) 共著者○○○○		

注3

注1 履歴書記載の氏名と照合する。外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。
 ※氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

注2 主論文等の題名と照合する。外国語の場合、字体・文字の大小について統一させ、和訳を（ ）
 カッコ書きで付記する。

注3 主論文・参考論文ともに公表年月順に、列記する。

1) 未公表の論文の場合は、公表の「方法」「時期」「原稿枚数」を記入する。※

公表または公表予定がない場合、投稿予定を必ず記載する。

なお、公表予定を記載する場合は、公表時期が決まり次第連絡すること。

2) 参考論文を添付しない場合は、「なし」と記入すること。

3) 参考論文がインターネット上のみで公表されるものを記載する場合は、「掲載されるサイトの名称」「URL」「公表の時期」「共著者名」を記載すること。

※参考「学位規則第24条 博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から1年以内に、その論文を印刷公表しなければならない。ただし、当該学位を授与される前に既に印刷公表したときは、この限りでない。」

様式6 「履歴書」作成に係る留意事項

氏名

- 1) 学位記へ表記する氏名とするため、戸籍簿どおりの氏名を記載する。
※旧姓使用については、医学系学府からの要望もあり、大学としての取扱いを検討中。
- 2) PC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、学位記表記文字等の様式を別途提出するか、履歴書氏名を手書きで記載する。
- 3) 外国人氏名については、**カタカナ・アルファベット・漢字（漢字圏の学生のみ）**を記載する。
(氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。)

(例)

①中国・韓国等（漢字表記）の方	②欧米等（アルファベット表記）の方
ホァンツ ウエイ (カタカナ)	モハメッド アブドウル マジード (カタカナ)
黄 志 偉 (漢字)	Mohammed Abdul Mazeed (アルファベット)
Hyang Chih Wei (アルファベット)	

生年月日

→ 「和暦」及び「西暦」を記載してください。例：昭和51（1976）年1月1日

本籍（都道府県）

→ 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記載する。
国名は、外国人登録証にある国名を原則とする。
中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」、台湾→「中国（台湾）」等

現住所

→ 住民票に記載されている住所を（郵便番号）及び都道府県名から記載する。
現住所宛てに、学位授与式の通知等が送られますので、通信上支障のないように郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。また、提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学・学部・学科名、大学院・専攻・修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。
- 3) 本学における大学院入学・進学の区分に注意する。
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と記載する。
- 4) 本学大学院研究科の再編時期について、以下、注意すること。
昭和60年度入学者（～S61.3.31）まで「医学研究科」、それ以降は「医学系研究科」
平成11年度入学者（～H12.3.31）まで「研究科」、それ以降は「学府」
- 5) 研究生歴は学歴に含めない（研究歴に含める）。

職歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。
- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。
- (例) 「△△会社 (旧名××会社 平成●年●月●日社名変更)」
「××会社 (平成●年●月●日△△会社に名称変更) 等
- ※「九州大学医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院 (呼称：九州大学病院)」の名称は、平成15年10月から使用。

研究歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
- 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例) 九州大学大学院工学府および日立製作所中央研究所において、△△△に関する研究
- 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
- 5) RA (リサーチアシスタント) は研究歴に含めることもあるが、在籍中の雇用については、研究歴に含める必要がない。(TA は研究と関係ないので含めない。)
- 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。(研究生として在籍すべき)

様式 11-3 論文審査の結果の要旨及びその担当者の記入要領

論文審査の結果の要旨及びその担当者

ふりがな 氏 名	履歴書記載の氏名と同様の記載かを確認する。 外国人の場合は、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記載する。																
論文審査の結果 の要旨	別紙のとおり																
論文調査委員	<table border="0"> <tr> <td>主 査</td> <td>九州大学</td> <td>職 名</td> <td>氏 名</td> </tr> <tr> <td>副 査</td> <td>九州大学</td> <td>職 名</td> <td>氏 名</td> </tr> <tr> <td>注①副 査</td> <td>九州大学〇〇研究院</td> <td>職 名</td> <td>氏 名</td> </tr> <tr> <td>注②副 査</td> <td>●●大学</td> <td>職 名</td> <td>氏 名</td> </tr> </table>	主 査	九州大学	職 名	氏 名	副 査	九州大学	職 名	氏 名	注①副 査	九州大学〇〇研究院	職 名	氏 名	注②副 査	●●大学	職 名	氏 名
主 査	九州大学	職 名	氏 名														
副 査	九州大学	職 名	氏 名														
注①副 査	九州大学〇〇研究院	職 名	氏 名														
注②副 査	●●大学	職 名	氏 名														
試験又は学力確 認の結果の要旨	別紙のとおり																
論文審査学府教 授会等の名称と 組織	<table border="0"> <tr> <td>名 称</td> <td>九州大学大学院〇〇学府教授会</td> </tr> <tr> <td>組 織</td> <td>委員 〇〇〇名</td> </tr> </table>	名 称	九州大学大学院〇〇学府教授会	組 織	委員 〇〇〇名												
名 称	九州大学大学院〇〇学府教授会																
組 織	委員 〇〇〇名																
判定方法	<p>〇〇学府教授会における無記名投票による。</p> <p>出席者 〇〇〇名 可票 △△△票, 否票 ▲▲票</p>																

注① 九州大学他研究院から調査委員が加わった場合—研究院名を記載する。
「博士學位論文内容の要旨及び審査の結果の要旨」への掲載には使用しない。審査協力者の集計等のために明記を依頼している。

注② 他大学等から調査委員が加わった場合—大学名等を記載する。

様式11-3 論文審査の結果の要旨及びその担当者の記入要領

論文審査の結果の要旨及びその担当者

ふりがな 氏名	履歴書記載の氏名と同様の記載かを確認する。 外国人の場合は、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記載する。																				
論文審査の結果 の要旨	別紙のとおり																				
論文調査委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">主査</td> <td style="width: 40%;">九州大学</td> <td style="width: 10%;">職名</td> <td style="width: 10%;">氏名</td> <td style="width: 10%;">氏名</td> </tr> <tr> <td>副査</td> <td>九州大学</td> <td>職名</td> <td>氏名</td> <td>氏名</td> </tr> <tr> <td>注①副査</td> <td>九州大学〇〇研究院</td> <td>職名</td> <td>氏名</td> <td>氏名</td> </tr> <tr> <td>注②副査</td> <td>●●大学</td> <td>職名</td> <td>氏名</td> <td>氏名</td> </tr> </table>	主査	九州大学	職名	氏名	氏名	副査	九州大学	職名	氏名	氏名	注①副査	九州大学〇〇研究院	職名	氏名	氏名	注②副査	●●大学	職名	氏名	氏名
主査	九州大学	職名	氏名	氏名																	
副査	九州大学	職名	氏名	氏名																	
注①副査	九州大学〇〇研究院	職名	氏名	氏名																	
注②副査	●●大学	職名	氏名	氏名																	
試験又は学力確 認の結果の要旨	別紙のとおり																				
論文審査学府教 授会等の名称と 組織	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">名称</td> <td colspan="4">九州大学大学院〇〇学府教授会</td> </tr> <tr> <td>組織</td> <td>委員</td> <td>〇〇〇名</td> <td colspan="2">注③</td> </tr> </table>	名称	九州大学大学院〇〇学府教授会				組織	委員	〇〇〇名	注③											
名称	九州大学大学院〇〇学府教授会																				
組織	委員	〇〇〇名	注③																		
判定方法	<p>〇〇学府教授会における無記名投票による。</p> <p>出席者 〇〇〇名 可票 △△△票, 否票 ▲▲票</p>																				

注① 九州大学他研究院から調査委員が加わった場合—研究院名を記載する。

「博士学位論文内容の要旨及び審査の結果の要旨」への掲載には使用しない。審査協力者の集計等のために明記を依頼している。

注② 他大学等から調査委員が加わった場合—大学名等を記載する。

注③ 学府の内規等により、教授会開催日当日に、休職・出張・研修・病気休暇中等により出席できない者を定足数に算入しない旨定められている場合は、それに従った人数を記載する。